

---

**株式会社ソケッツ**  
**2012年3月期第1四半期決算に関するQ&A**

---

2011年7月28日

**Q1: 前年同期より全社売上高が1.6%減少している理由は**

**A1: 売上比率約8割の中心ビジネスであるメディアビジネスは、前年同期比110%と引き続き増加している一方でコンテンツビジネスは、計画通り、スマートフォン注力のためのサービス整理等を行い前年同期比71%となっていることが要因です。いずれにおいても期初計画通りに進捗しております。**

**今期、ビジネスモデルの転換により取り組んでいる中で、中心であるメディアビジネスの増加傾向の一方でコンテンツビジネスの減少傾向というのは通期を通した計画に織り込んでおります。**

**Q2: 利益率が減少している理由は**

**A2: 将来の成長戦略の投資として前期後半からスタートしたストリーミングサービスにかかるシステムの運用及び減価償却費や提供先拡大を見据え着手している汎用性の高いデータベースシステムの一部が完成し、運用及び減価償却費等も増加しております。**

**これらは、中期的に、当社の強みを活かしたサービスによるユーザー数の拡大が、直接的に収益の拡大に貢献するビジネスモデルへとよりシフトする布石となっております。利益率に関しましても、期初計画通りとなっております。**

**Q3: 成長戦略の投資による将来の効果は**

**A3: 本投資は、よりユーザー数の拡大に連動したビジネスモデルを収入モデルの軸とする取り組みを行っております。**

- ①音楽や映像ストリーミングサービスの育成**
- ②専門検索サービスやレコメンドサービスにおける既存サービスの拡充や提携先の拡大**
- ③情報(データ)の幅を広げ、ニュース、生活・地域情報等のサービスの立ち上げ**
- ④ソーシャルサービス連携**
- ⑤モバイル機器以外へのデバイス展開**
- ⑥上記サービスを統合するハブメディア確立**

これらを実現するための仕組み(データベース及びストリーミングシステム)を先行して開発し、そこにサービスを乗せていくことにより、売上及び利益並びに利益率が一段と増加することを目指しております。

**Q4: 第2四半期及び通期計画について**

**A4: 第1四半期では、第2四半期累計期間の進捗率、売上高47%、経常利益49%と計画どおり推移しております。現時点において、第2四半期累計期間及び通期の期初計画から変更はございません。**

**今期においても上期:下期売上比率は35:65という計画になっております。(前期上期:下期売上比率40:60)**

**これは通信会社の例年の春モデルに合せたサービス開発が集中することが要因です。今期においても、下期以降に音楽ストリーミングサービスの拡大、映像ストリーミングサービスの新規開発及びAPI提供先としてサービスの広がり等による売上の増加を見込んでおります。**